

# 令和7年度 佐倉市議会意見交換会報告書 ～高校生とつくるまちづくり～

## 1. 開催日及び会場

日 時：令和7年12月16日（火） 午後1時30分～4時00分

会 場：佐倉市役所 議会棟

## 2. 参加者

生 徒：23名

佐倉高等学校 6名・佐倉東高等学校 5名・佐倉西高等学校 2名・

佐倉南高等学校 5名・印旛特別支援学校さくら分校 5名

議 員：27名

## 3. 内 容

第一部 高校生等から政策提案 （於：本会議場） 13：30～14：20

・学校毎に考えた政策提案を議場で発表しました。

第二部 高校生等と議員で意見交換 （於：委員会室） 14：35～15：15

・政策提案について生徒と議員で意見交換しました。

第三部 議場体験 （於：本会議場） 15：20～16：00

・政策提案を発議案として上程し、討論、採決を体験しました。



## ～第一部 高校生等から政策提案～

学校毎に考えた政策提案を議場で発表しました。※各校持ち時間8分

学校名	テーマ / 政策提案掲載ページ	
佐倉高等学校	バトンで繋ぐ佐倉の安全	3頁
佐倉東高等学校	ひよどり坂をバズらせよう！	5頁
	桜 eSportGaming ～高齢者へ健康促進・地域交流の場を～	6頁
佐倉西高等学校	すべての人が快適に移動できる思いやりに満ちたユニバーサルなまちづくり	7頁
佐倉南高等学校	生徒が集う屋内のコミュニティスペースが欲しい！	8頁
	「正門前が心配！」～生徒、職員、中学生、近隣住民のための正門前環境向上の提案～	9頁
印旛特別支援学校 桜分校	佐倉の“おいしい”と“楽しい”を集めよう！ 食と歴史のフェス提案	10頁



佐倉高校



佐倉東高校



佐倉西高校



佐倉南高校



さくら分校

学校名：佐倉高等学校

## 政策提案書

### 1. 提案タイトル

# バトンで繋ぐ佐倉の安全

### 2. 現状の課題

- ・佐倉小学校の学区に危険な場所（側溝・ひび割れ・電灯がないなど）がたくさんある〈フィールドワークより〉
- ・市内に不審者が出没したという報告がある〈HPより〉
- ・これらを市民と共有できていない

### 3. 具体的な提案内容（解決策）

#### (1) 実施したフィールドワークについて

(ア) 目的 佐倉小学校の学区内の危険な場所を把握し安全確保の方法を探るため

(イ) 方法 佐倉小学校の学区を対象に次の観点で危険な箇所を調査しをマッピングを行う

- ・塞がれていない側溝やコンクリートが傾いている箇所がある
- ・交通量の多さや歩道の狭さといった危険な道路がある
- ・ひび割れや剥離、高さが背を越えるといった危険なブロック塀がある

これらについてまとめた資料が別紙のマップである。このような調査から『2.現状の課題』に記載したような課題があることが分かった。

#### (2) 課題に対する解決策

この課題に対して、私たちは以下の3点を解決策として提案する。

(ア) 危険箇所の優先的改善

調査により判明した危険箇所（マップ記載）について早急な対策を講じること

(イ) 道路異常通報サービスの普及啓発

令和5年8月より導入されている、国土交通省のLINE通報アプリを活用した道路に対する異常通報サービスについて、地域住民への周知と利用促進（回覧板やポスターによる周知など）を図ること

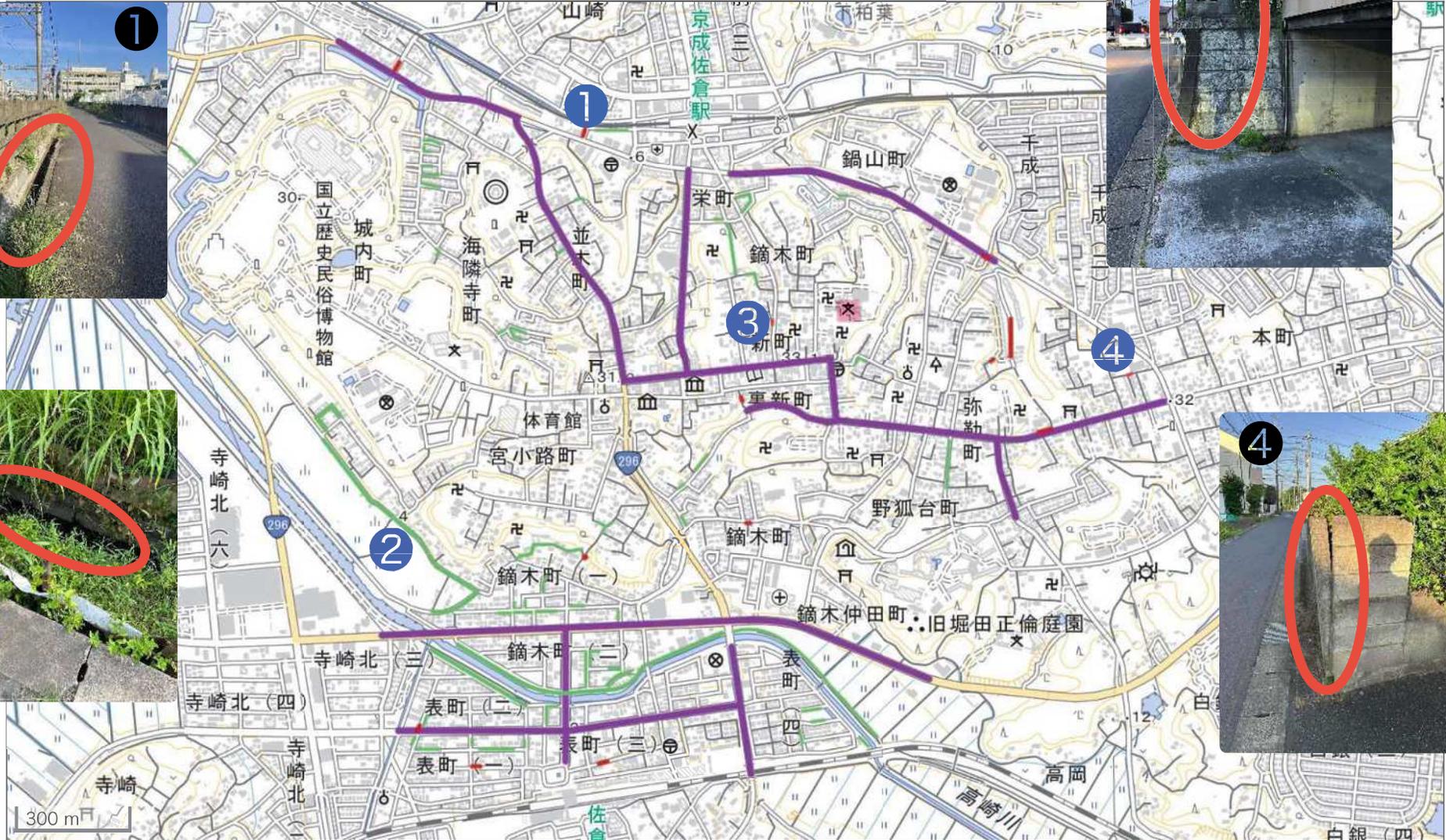
(ウ) 危険箇所の周知

道路異常通報サービスにより通報された箇所を市民が簡単に確認できるようにするために、LINEで通知が届くようにして、危険な箇所を市民が確認できるような仕組みを作ること

### 4. 提案の実現で期待できること

- (1) 危険な場所を市民どうしで共有することによって事件・事故を未然に防げるほか安心して佐倉市に住めるようになること
- (2) 小学生やその保護者の登下校への心配を軽減できること
- (3) 提案した危険箇所が実際に改善されることにより市民から行政への信頼が高まること

# 佐倉小学区内危険箇所



● : 道路に関する危険   ● : 危険なブロック塀   ● : 危険な側溝

学校名：佐倉東高等学校

## 政策提案書

### 1. 提案タイトル

ひよどり坂をバズらせよう！

### 2. 現状の課題

- ①暗くて危ないところが多い。
- ②佐倉市以外の人に伝わっていない。
- ③佐倉市民しか知らない。

### 3. 具体的な提案内容（解決策）

- ①ひよどり坂に提灯を飾る。
  - ・地域の小中学校に提灯をカラフルに色付けしてもらったり文字を書いてももらったりする。
  - ・飾り付けは大人たちがやる。
- ②イベントを宣伝するためにInstagramを使う
  - ・ターゲット層を決める（若い人たちを中心に広める）
  - ・魅力的なコンテンツを作成する。（小中学校を対象にしたイベント）
  - ・顧客との関係性（コメント・DMを通じて）
- ③アナログも宣伝を行う
  - ・特定の地域に住んでいる人々に効果的に情報を届けられる。
  - ・宣伝自体のデザインにこだわることで視覚的なインパクトが強く記憶に残りやすい。
  - ・SNSを組み合わせることでより効果的な宣伝ができる。

### 4. 提案の実現で期待できること

若者を呼び込み、佐倉を発展させることができる。

## 政策提案書

### 1. 提案タイトル

桜eSportGaming～高齢者へ健康促進・地域交流の場を～

### 2. 現状の課題

- ①少子高齢化 → それに伴う（高齢者・地域経済）支援の課題
- ②新型コロナ流行後 → 地域交流の場の減少 → 孤独を抱える高齢者の増

### 3. 具体的な提案内容（解決策）

- 桜 eSportGaming（事業・サービス内容）※主に65才以上のシニア向け
  - ・最新のゲーム機器・最高のゲーム環境を提供＋eSportで楽しく健康促進
- ボランティア×地域交流
  - ・地域の中高生へボランティア募集 → 中高生：最新機種が使える
  - 高年齢者：子どもたちと交流できる
- 地産池消
  - ・佐倉市の食材や技術を生かした昼食を提供 → 地域経済に貢献

WINWIN

### 4. 提案の実現で期待できること

- 地域交流の活性化
- 高齢者の第2、3の居場所となる
- 地域経済の活性化（数十～百万円規模）
- 高齢者の課題を解決する

学校名：佐倉西高等学校

## 政策提案書

### 1. 提案タイトル

すべての人が快適に移動できる、思いやりに満ちたユニバーサルなまちづくり

### 2. 現状の課題

白井駅周辺では、歩道の幅が狭いことに加え、視覚障害者誘導用ブロックの不足、車いすやシルバーカー利用者の方が使いにくい勾配の急な歩道のスロープや段差、穴の大きい側溝のふた、といった複数のバリアが存在し、車いす・シルバーカー・ベビーカー利用者や視覚障害者の安全かつ円滑な移動を妨げている。

### 3. 具体的な提案内容（解決策）

- ・高齢者、車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが安全かつ円滑に通行できるよう、歩道の幅を十分に確保する。
- ・視覚障害者の方が安全に駅を利用できるよう、ロータリーから駅の階段・エスカレーターまで、視覚障害者誘導用ブロックを増設する。
- ・高齢者や車いす利用者をはじめ、誰もが安全かつ円滑に通行できるよう、歩道・車道間の段差を解消し、歩道のスロープの勾配を緩やかにする。
- ・高齢者や視覚障害者の方が安心して通行できるよう、車いすやシルバーカーのキャスター、白杖がはまり込まない側溝ふたへ交換する。

### 4. 提案の実現で期待できること

車いす等の利用者同士が安全にすれ違える歩道幅の確保や、視覚障害者を含む全ての歩行者にとって快適な移動環境が創出される。一般の方の利便性向上はもちろん、移動の安全性が確保されることで、地域社会全体の安心感と平等な社会の実現に寄与する。こうした環境整備は、多様な人々への「思いやり」を育み、高齢者や障害のある方への声かけや配慮といった、日常的な支援行動を促す機会にもつながる。

学校名：佐倉南高等学校

## 政策提案書

### 1. 提案タイトル

**生徒が集う屋内のコミュニティスペースが欲しい！**

### 2. 現状の課題

学校以外に学生が心を許して集まれる場所が少ない。（公共の場所では配慮が必要）電車待ちをするときに時間をつぶせる場所がない。（飲食店はお金がかかる）雨が降った日のことを考えて屋内がいい。

### 3. 具体的な提案内容（解決策）

#### ■高校生が集まれる場所の確保

- ・ 駅前の空きテナントを利用して「高校生のためのフリースペース」をつくる。
- ・ 佐倉市内高校生の豊かなコミュニケーションの場としての期待。
- ・ 中学生との交流を図るなどのイベントも定期的の実施したい。

#### ■壁のデザインなどは市内高校生の美術部などに協力をしてもらう。

- ・ 自分たちの居場所を自分たちの手で作り上げる活動。
- ・ 佐倉市内の高校生で協力することで、今までなかったコミュニケーションの場になる。

#### ■佐倉市内の高校生の利用に限る

- ・ 初回利用時には、学生証を提示してもらい利用券を発行する。身分を明確にすることでトラブルの抑制になる。

### 4. 提案の実現で期待できること

- ・ 駅前に長時間滞在しなくなることで一般の方とのトラブルが減る。
- ・ 学生の安全や安心が守られ、友達との交流の場所ができる。
- ・ 佐倉南高生に聞いたところ、約半数以上がそのようなスペースがあると助かると答えたことから、高校生が普段から抱えている悩みの解決につながると考える。

学校名： 佐倉南高等学校

## 政策提案書

### 1. 提案タイトル

「正門前が心配！」

～生徒、職員、中学生、近隣住民のための正門前環境向上の提案～

### 2. 現状の課題

現状

- ・本校正門は緩やかなカーブの坂途中にあり、正門から坂の上下に佐倉南高校停留所がある。
- ・坂の上下ともに停留所は、正門から10m～20mの距離にある。
- ・バスは、生徒、職員、近隣住民が利用している。
- ・この道は、自転車通学の根郷中学生も通っている。
- ・この道を、抜け道として通過する車が増え、なぜかスピードが速い。とくに下る車。
- ・この道を、通過する車は、なぜかカーブの中央寄りを走行する。とくに下る車。
- ・この道を、坂下からみて歩道は、正門に入りやすい右側にあるが左側にはない。
- ・この道は、車道のラインはないが、正門前にカーブミラーがある。

課題

- ・坂下から上に向かう佐倉南停留所で乗降する際に、停車中のバスの前を通過し正門に向かうと、坂下から上に向かう車の死角からの飛び出しとなり危険。後を通過し正門に向かうと、坂上から下に向かう車の死角からの飛び出しとなり危険。後ろから車で正門に入ると、坂上から下に向かう車の死角からの飛び出しとなり危険。後ろから自転車で左側通行を行うことが危険。
- ・正門の反対側は気が生い茂っていて、坂の上下それぞれから見づらい。

### 3. 具体的な提案内容（解決策）

- 徐行を促す標識、地面への標記。
- 横断歩道の標記。
- 減速ロードハンプの設置。
- 歩道の確保。
- 停留所の整備。
- 木の伐採。
- 車道の拡充。

### 4. 提案の実現で期待できること

- 生徒、職員、中学生、近隣住民、運転者や同乗者の危険が回避される。
- 生徒、職員、中学生、近隣住民、運転手や同乗者の心配が減り、穏やかな気持ちになる。

## 政策提案書

### 1. 提案タイトル

佐倉の美味しいと楽しいを集めよう！食と歴史のフェス提案

### 2. 現状の課題

魅力的な歴史的資源、魅力ある文化的資源、自然環境がたくさんあるのに、認知度が低い！多くの人に知られていない！生かされてない！のではないかな。

【佐倉の魅力ある資源の一例】

歴史民俗博物館、城址公園、風車、ひよどり坂、順天堂病院、麻賀多神社、草笛の丘、夢咲くら館、市民体育館、ハーモニーホール、味噌、ぞう六餅、お茶、秋祭り、花火大会、チューリップ祭り等

### 3. 具体的な提案内容（解決策）

・ヤマニ味噌やハーブソース、レンコン等佐倉市の特産品を使用したB級グルメを集めた「食フェス」を開催する。フェス開催時は投票をしてグランプリを決定する。（参加者は飲食店の方はもちろん、佐倉市5校の高校生もアイデアを出して出店できたら面白そう）

※味噌に絞って「味噌フェス」という案が出たが、ヤマニ味噌さんの協力が得られなかった場合は難しくなるので、あえて「佐倉市の特産品」にしました。味噌のできるのであれば味噌だけで進められたらと考えています。

・場所は、城址公園で実施し、歴史民俗博物館、武家屋敷、ひよどり坂などの歴史的なスポットを回ると会場特典がもらえるような仕組みにする。（そうすることで、佐倉市の魅力的なスポットを知ってもらうきっかけにもなる）

・宣伝の際は、風車、ひよどり坂、ヤマニ味噌の蔵、城址公園の自然等、映える写真を使用して佐倉市の良さをアピールする。

・SNSでハッシュタグをつけて発信し、拡散させる。

・成田空港から近いという立地を活かして、外国からのお客様にも来ていただけるよう、SNSに投稿する際は、英語での宣伝やハッシュタグもつける。

### 4. 提案の実現で期待できること

もっと多くの方に佐倉市の魅力を知ってもらい、多くの方に佐倉市に来ていただくことで、佐倉市はもっと活性化し、街が盛り上がることを期待できる。そして、活性化すれば、お店が増えたり、施設が充実してより住みやすい佐倉市になることが期待できる。

## ～第二部 高校生等と議員で意見交換～

第一部で発表した政策提案について、学校毎に各委員会室を会場として生徒と議員で意見交換をしました。

### [佐倉高等学校]

テーマ：バトンで繋ぐ佐倉の安全

参加者：生徒 6 名

議員 6 名（齋藤寛之、伊藤とし子、稲田敏昭、望月圧子、村田穰史、岡村芳樹）



#### <質 疑>

##### ■ 危険箇所マップに関する提案について

Q. (高校生) 「道路異常通報サービス」を使った取り組みは市では行っているのか。

A. (議 員) 議会で政策提案をしてきた。今後も周知に努めていきたい。

要望 (高校生) 佐倉小学校区の通学路の危険箇所について、保護者・児童へ手紙を配布してほしい。

##### ■ フィールドワーク調査について

Q. (議 員) 調査にはどれくらいの時間をかけたのか。

A. (高校生) 夏休みに 3 日間、毎回夕方から日没までの約 3 時間。6 人を 2 班に分け、基準がずれないように注意しながら調査した。

Q. (議 員) マップ 3 にあるブロック塀はどのような状況か。

A. (高校生) ・高さ 2.2m で二段積み。地震で倒壊する危険性がある。・穴あきブロックは支柱がない場合が多く、倒壊リスクが高い。・交通量が多い道路に面しており、側溝の多さも気になった。※八千代市では側溝が少ないため特に危険と感じた。

Q. (議 員) 地図の赤線は何を示しているのか。

A. (高校生) ブロック塀が「欠けている箇所」「傾いている箇所」を示している。市の公式 LINE でのマップの公開・My City Report のような市民協働投稿サービスへの掲載をと考えている。

## ■ 他市との比較について

### Q. (議員) 自分の住む市と佐倉市の違いはどう感じたか。

A. (高校生) 習志野市は側溝に蓋がされているが佐倉市はむき出しの箇所が多く危険だと思った。八千代市はブロック塀の高さが佐倉より低く、安全面で差を感じた。

A. (議員側の説明)

- ・公道の管理は自治体だが、ブロック塀は民地のため所有者の意向による。所有者がいるので、協力を仰ぐ対応となっている。
- ・市から所有者に依頼しているが補助金が全額ではないため、対応が進みにくい。
- ・八街市の通学路の事故を受けて、3年毎に全校区で点検をしている。
- ・佐倉警察署、佐倉市土木部・教育委員会などで今夏に点検して3か所危険箇所が判明した。
- ・側溝の蓋がしてあると、枯れ葉の掃除ができないので、コンクリート蓋ではなくグレーチングに替えてほしいという地域の要望が出ている。
- ・側溝は古い団地では蓋のサイズが合わない問題もある。
- ・今回の高校生の調査視点は公式調査に含まれていないため、非常に価値が高い。

## ■ 市民との情報共有手段について

### Q. (高校生) 公式 LINE で危険個所の情報発信はできるか。

A. (議員) 市独自の発信方法は重要だが、現時点で回答できないため確認が必要。

A. (議員) 国交省アプリは一方通行になりがちで不十分。23校区ごとに情報共有ができる仕組みがあると望ましい。

### Q. (高校生) 各学校の HP からリアルタイム情報が見られると役立つのではないか。

A. (議員) 学校ごとに一斉メールの仕組みがあり、学区内情報の共有は可能。

危険個所情報アプリは存在するが、知られていないのが課題。自治会回覧への掲載も一つの方法。佐倉高校から佐倉小学校への直接提案も有効。ポスターで LINE の周知を進めるのは有効な手段。

A. (議員) 側溝の蓋、民地のブロック塀などの問題を現段階でどう実現できるか、案は出せないが何か形にしたい。皆さんにもご報告したい。

## ■ まとめ (高校生)

危険箇所の改善はすぐに解決できる問題ばかりではないが、回覧板・ポスターなどで情報を共有することが第一歩。まずは市に動き出してほしい。

## [佐倉東高等学校]

テーマ：ひよどり坂をバズらせよう、

桜 eSportGaming～高齢者へ健康促進・地域交流の場を～

参加者：生徒 5 名

議員 5 名（密本成章、木崎俊行、鍋田達子、高木大輔、櫻井道明）



### <質 疑>

#### ■ ひよどり坂のライトアップ案について

Q. (議 員) どうして「ひよどり坂」に焦点を当てたのか。

A. (高校生) 若者受けする“映える場所”として最適だと思った。竹藪で光が差すと幻想的で写真映えする。身近で行きやすい場所として選んだ。

Q. (議 員) 他の場所（例：城址公園）との比較は。

A. (高校生) 若者にとって最も映えるのは「ひよどり坂」。

Q. (議 員) 市長の出張授業で印象に残っている点は。

A. (高校生) 佐倉の魅力について説明を受けた。市役所での働き方なども質問した。

Q. (議 員) 竹に提灯を吊す案について。

A. (高校生) 当初は赤い提灯をイメージしていたが、市長から「竹そのものに穴を開けて灯りをともし」案を提案され、環境面（竹炭など）でもよいと感じた。

Q. (議 員) 小学生・中学生に提灯の絵を描いてもらう案があったが、ほかに具体的な考えはあるか。

A. (高校生) 一年中ではなく、長期休み期間などに地域の方の協力を得ながら進めるのが良いと思う。

Q. (議 員) ひよどり坂を下った後の動線、住宅街で終わることに対する考えは。

A. (高校生) 秋祭りのように、地域の方に協力してもらい、竹の提灯の後に紐で吊るした提灯を続ける方法が良いと考える。

#### [議員コメント]

・市としては、佐倉の魅力推進課と教育委員会の社会教育担当課が一体となり、横断的に

取り組んで、この素晴らしい提案をぜひ実現してもらいたいと考える。佐倉市を知ってもらい、魅力を発信していくという高校生の思いは大変ありがたいものであり、高校生が主体となることで“バズる”きっかけにもなり得る。来訪者の増加も期待でき、市内の美味しい店などの情報もSNSを通じて広く伝わっていく可能性がある。

・写真では美しく映っているひよどり坂であるが、もともとは石段もない山道であった。これを佐倉市が観光施策の一環として整備し、「観光 W コア構想」に基づき進めてきた場所である。竹をくり抜いて灯りをとす現在の演出もその一部であり、京成佐倉駅へ向かう下り坂に設置されているピンク色の灯りは、佐倉市の象徴である“桜”をイメージしたものである。市の観光イメージを統一して展開していくことが重要であるとする。

## ■ e-sports 事業提案について

**Q. (議員) 提案の経緯は。**

A. (高校生) 建前は“高齢者につながる”という点である。本音は“ビジネスとして儲かる”という点である。大学生になったら起業し、e-sport で収益をあげたいという本音がある。

**Q. (議員) e-sport のイメージ (VR との違い) について。**

A. (高校生) 基本はコントローラーを使うタイプのアクションゲーム。VR とは別。

**Q. (議員) 高齢者の認知症予防にも効果があるか。**

A. (高校生) 他の自治体でも取り組みが進んでおり、報道でも紹介されている。効果が期待できる。

### [議員コメント]

e-sport については、国も行政も「デジタル田園都市構想」を掲げ、あらゆる分野でデジタル化を推進している状況である。e-sport は高齢者の認知症対策にも効果が期待できる分野であり、こうした視点から行政に対して働きかけていくことが有効であるとする。

## ■ 議員への質問コーナー

**Q. (高校生) 議員の年収は。**

A. (議員) 月約 46 万円。年収にすると約 800 万円。ただし税金などで差し引かれる。

**Q. (高校生) 会派や政党はなぜ選んだのか。**

※それぞれの議員が、所属している会派や政党、無所属への考え方を短く答えた。

**Q. (高校生) 地方議員になるにはお金がかかる。**

A. (議員) 選挙にでるには供託金が 30 万円。その他の費用は本人次第。

**Q. (高校生) 政党は一度入ると変えられないのか。**

A. (議員) 説明責任さえ果たせば変更可能。

**Q. (高校生) 議会は年間何回。**

A. (議員) 定例会 4 回。必要に応じて臨時会。1 回の議会は約 1 か月。

**Q. (高校生) なぜ議員になろうと思ったのか。**

※それぞれ簡潔に初心を説明した。

## [佐倉西高等学校]

テーマ：すべての人が快適に移動できる思いやりに満ちた

ユニバーサルなまちづくり（臼井駅周辺の歩道の段差解消など）

参加者：生徒 2 名

議員 3 名（長谷川泰弘、高橋とみお、松島 梢）



### <質 疑>

**Q. (議員) なぜこの問題に取り組んだのか。**

A. (高校生) 街のバリア点検会で高齢者や視覚障害者と歩いた際、実際の困りごとを知った。家族に車椅子利用者がいることも背景にある。

#### [議員コメント]

高校生が現場で気づいた視点は、大人が見落としがちなものだ。このような提案は非常に貴重であり、議会として重く受け止め、行政につなげていく必要がある。

**Q. (高校生) 臼井駅周辺で視覚障害者誘導用ブロックが途中で途切れているのは危険ではないか。自転車や歩行者と接触する危険があると感じた。**

A. (議員) 重要な動線で未接続の箇所が確認されており、駅構内と市道で管轄が分かれる可能性もある。市として整理し、鉄道事業者と連携して改善を検討する必要がある。

**Q. (高校生) 歩道のスロープの勾配が急で車椅子では自走できなかった。改善できないのか。**

A. (議員) 勾配の改善には大規模な改修が必要な場合もあるが、「自走できない」という指摘は重い。高齢者や障害者の視点に立ち、優先度を高く検討すべき課題である。

**Q. (高校生) 歩道と車道の段差が高く、車椅子では乗り上げられず危険だった。**

A. (議員) 段差には設計基準があるが、基準を満たしていても安全とは限らない。特に駅前では基準にとらわれず、実態に合わせた改善が必要だと考える。

**Q. (高校生) グレーチングの隙間に車椅子のキャスターや白杖が挟まってしまう。**

A. (議員) 明確に改善すべき問題である。挟まりにくいグレーチングへの交換は可能であり、駅前など公共性の高い場所から優先して対応すべきである。

**Q. (高校生) 通学路では歩道の老朽化や植栽のはみ出しなど複数の課題が見られた。**

A. (議員) 古い市街地では同様の課題が多い。市民からの通報も活用しつつ、優先順位をつけ改善を進める必要がある。視覚障害者と車椅子利用者双方に配慮した点字ブロックも検討課題である。

## [佐倉南高等学校]

**テーマ** ①生徒が集う屋内のコミュニティスペースが欲しい！

②「正門前が心配！」

～生徒、職員、中学生、近隣住民のための正門前環境向上の提案～

**参加者：**生徒5名

議員7名（斎藤明美、山本英司、三谷英継、石井 昇、押木孝和、五十嵐智美、平野裕子）



### <質 疑>

■ 生徒が集う屋内のコミュニティスペースについて

**Q. (高校生) 勉強できる場所やコミュニティスペースがほしい。**

A. (議員) 昨年度も要望があり、引き続き検討が必要な課題である。

**Q. (高校生) 駅前で話しているだけで警察を呼ばれてしまうことがある。**

A. (議員) 高校生が安心して過ごせる場所がないことの表れであり、居場所づくりの必要性を感じる。

**Q. (高校生) 学校に残れないため、佐倉駅周辺に集まれる場所がほしい。**

A. (議員) 北口への整備案も含め、利用意向を踏まえて検討する。

Q. (高校生) 3部制で待ち合わせに佐倉駅を使うため、コミュニティースペースが必要。

A. (議員) 広さや内容のイメージを確認しながら検討したい。

Q. (議員) この意見は全学年共通か。

A. (高校生) 全員が同じ意見である。

Q. (議員) コミュニティースペースのイメージは。

A. (高校生) フードコートのような空間や、長時間滞在できる場所がほしい。

Q. (高校生) 駅周辺に長くいられず、不審者も心配。

A. (議員) 見守りや安全対策を含め、未成年者が安心して利用できる施設が必要である。

Q. (高校生) コミュニティースペースに伝言板がほしい。

A. (議員) 交流促進につながるアイデアであり検討できる。

Q. (高校生) 暇つぶしができるものがほしい。

A. (議員) 居場所としての魅力向上に繋がる要素として参考にする。

Q. (高校生) 弁当プロジェクトのような企画を年1回は実施してほしい。

A. (議員) 高校生主体の取り組みとして実現の可能性を探りたい。

#### ■ 正門前環境向上の提案について

Q. (高校生) 学校前の道路が危険で、車のスピードを落としてほしい。

A. (議員) 横断歩道の未設置や注意喚起看板の不足があるため、改善に向けた確認が必要である。

Q. (高校生) 歩道がボコボコしていて危険。自転車や歩行者を急に避けられない。

A. (議員) 安全確保の観点から、路面状況の調査と改善が必要である。

Q. (高校生) 電柱に巻く注意看板がほしい。

A. (議員) 有効な対策であり検討したい。

#### [印旛特別支援学校さくら分校]

テーマ：佐倉の“おいしい”と“楽しい”を集めよう！食と歴史のフェス提案

参加者：生徒5名

議員6名（為田 浩、宇田みおこ、三井義文、石井秀明、橋岡協美、敷根文裕）



## <質 疑>

**Q. (議 員) この政策 (B 級グルメフェス) について、どんな思いがあるか。**

A. (高校生) 佐倉市のよいところをもっと多くの人に知ってもらいたいという思いがある。食を通して特産品を発信し、佐倉の魅力を感じてもらえる機会をつくりたい。

**Q. (議 員) 自分でフェスに参加したいと思うか。**

A. (高校生) 佐倉の味噌やお茶などを使って自分たちのメニューを作りたい (例: 味噌ラーメン、味噌スイーツ、蔵六餅コラボ菓子など)。

**Q. (議 員) どのような企業にアプローチしたいか。**

A. (高校生) 常盤化学、蔵六餅の木村屋、お茶関連企業、実習先企業など、地元企業と一緒にメニューを作りたい。

**Q. (議 員) 市内でフェスとコラボできそうな場所はあるか。**

A. (高校生) 城址公園、ふるさと広場など、市民が集まりやすく佐倉らしさが伝わる場所。

A. (議 員) 特産品を前面に出す企画は新しい取り組みであり、参考になる。

**Q. (議 員) SNSで“映える”写真とは何だと思うか。**

A. (高校生) 場所だけでなく、真似したくなる仕掛けが重要 (例: ひよどり坂の光、ポーズ企画、キャラコラボ、TikTok ダンス撮影など)。

**Q. (議 員) 味噌フェスに絞りたいか。**

A. (高校生) 味噌ラーメン、味噌フラペチーノ、味噌パンなど佐倉の味噌を主役にしたフェスをやりたい。

A. (議 員) 八街市の成功例や高校生キッチンカー、金子牧場とのコラボなどの提案。

**Q. (議 員) レンコンと味噌で何かアイデアはあるか。**

A. (高校生) 佐倉の特産品であるレンコンと味噌を組み合わせた料理を作りたい。

※味をジェスチャーで表現する SNS 拡散のアイデアも共有された。

## ■ まとめ

最後には市長も意見交換に加わり、高校生が思い描く「味噌ラーメンを軸としたフェス」への思いを直接伝えることができた。市長からは、和田地区で行われている“一から味噌を作る味噌づくり”の取り組みが紹介され、佐倉の味噌文化の奥深さや、地域とのつながりの大切さを共有する場となった。高校生のアイデアと市の取り組みが結びつき、とても有意義で、今後の佐倉の魅力発信につながる可能性を感じる会議となった。

## ～第三部 議場体験～

議場において現職の市議会議長の進行のもと、実際の市議会さながらに進行が行われ、市議会議員は執行部席に、生徒は議席に着席し、発議案上程、討論、採決を体験しました。各校の発議案の概要は以下のとおりです。

### 1. 発議案上程

#### [佐倉高等学校]

##### 佐高発議第1号：バトンでつなぐ佐倉の安全 小学校学区の安全確保に関する意見書

(概要)：佐倉高校は佐倉小学校学区を調査し、危険箇所  
の放置・街灯不足・地域での情報共有不足を課題として  
確認。子どもの安全を守るために、以下3点を提案  
する。

1. 危険箇所を優先的に改善
2. 道路異常通報サービス (LINE アプリ)  
の周知と活用促進
3. マイシティレポ (My City Report) 導入による市民参加型の情報共有体制の整備



#### [佐倉東高等学校]

##### 佐高発議第2号：ひよどり坂をバズらせよう！に関する意見書

(概要)：歴史あるひよどり坂の暗さや認知度の低さを  
改善するため、提灯装飾をこどもと地域で協働して  
実施し、Instagram やポスターで魅力を発信する。  
これにより、安全性向上・地域活性化・郷土愛醸成  
を図ることを提案する。



##### 佐高発議第3号：桜 eSport Gaming

##### ～高齢者へ健康促進・地域交流の場を～に関する意見書

(概要)：高齢者の健康課題と交流不足を改善するため、  
最新ゲーム機を活用した「桜 eSportGaming」を導  
入し、楽しみながら健康促進と世代間交流を実現する  
ことを提案。中高生のボランティア参加や地産地消ラ  
ンチの提供により、高齢者の孤独解消・地域の絆づく  
り・地域経済の活性化を同時に図る事業である。



**[佐倉西高等学校]**

**佐高発議第4号：全ての人々が快適に移動できる、**

**思いやりに満ちたユニバーサルなまちづくりを推進するための意見書**

(概要)：臼井駅周辺の歩道の狭さや段差、誘導ブロック不足など、多様な利用者の移動を妨げるバリアを解消するため、歩道拡幅・誘導ブロック増設・段差と急勾配の改善・安全な側溝ふたへの交換を進め、誰もが安心して移動できるユニバーサルな環境を整備することを提案する。



**[佐倉南高等学校]**

**佐高発議第5号：高校生が安心して集える屋内コミュニティスペース設置に関する意見書**

(概要)：高校生が安心して過ごせる場が不足しているため、駅前の空きテナントを活用した「高校生向け屋内フリースペース」を設置し、学生証で利用管理しつつ交流イベントも実施することで、安心・安全な居場所づくりと地域のコミュニケーション促進を図ることを提案する。



**佐高発議第6号：「正門前が心配！」**

**～生徒、職員、中学生、近隣住民のための正門前環境向上の提案～に関する意見書**

(概要)：佐倉南高校正門付近は、カーブと坂が重なる危険な道路環境に加え、抜け道として利用する車のスピード超過や視界不良により、生徒・職員・中学生・住民の乗降や通行に事故リスクが高い状況にある。そのため、徐行標識、横断歩道、ロードランプ、歩道確保、停留所整備、木の伐採、車道拡幅などの安全対策を実施し、地域全体の安心を高めることを提案する。



## [印旛特別支援学校さくら分校]

### 佐高発議第7号：佐倉の美味しいと楽しいを集めよう！食と歴史のフェス開催提案に関する意見書

(概要)：佐倉市の豊富な歴史資源と特産品の認知度向上・活用促進のため、特産品を使った“食フェス”を城址公園で開催し、来場者投票・高校生参加・市内名所巡り特典・SNS発信・外国人向け広報を組み合わせ、地域活性化と観光振興を図ることを提案する。



## 2. 討論の概要（各発議案に対する各校討論の概要）

- 佐高発議第1号：バトンでつなぐ佐倉の安全 小学校学区の安全確保に関する意見書
  - ・危険箇所の改善、道路異常通報サービスの普及など、明確な安全対策が示されており、地域の安心につながるとの評価があった。
  - ・自校周辺の課題を的確に捉えた現実的な提案であるとして賛成意見が示された。
- 佐高発議第2号：ひよどり坂をバズらせよう！に関する意見書
  - ・若者の視点に基づき、地域との関わりを深めながら観光資源の魅力を発信する取り組みであると評価された。
  - ・郷土愛の醸成、安全性向上、観光による地域活性化が期待されることから賛成意見が示された。
- 佐高発議第3号：桜eSport Gaming  
～高齢者へ健康促進・地域交流の場を～に関する意見書
  - ・高齢者と中高生の交流促進や認知症予防の可能性が高く、地域の絆づくりに寄与するとの意見があった。
  - ・e-sport が現代社会に適合した取り組みであり、地域活性化につながる点から賛成する意見が多く出された。
- 佐高発議第4号：全ての人が快適に移動できる、思いやりに満ちたユニバーサルなまちづくりを推進するための意見書
  - ・誰もが快適に移動できる環境を整えることにつながり、平等で住みやすいまちの実現に寄与するとの評価があった。
  - ・障害の有無に関わらず暮らしやすい社会となるとの理由から賛成意見が示された。
- 佐高発議第5号：高校生が安心して集える屋内コミュニティスペース設置に関する意見書
  - ・学校の垣根を越えた同世代交流の場として新たな価値を持つと評価された。
  - ・高校生の社会的経験を広げ、地域活動の活性化にもつながるとして賛成が多数であった。

### ■佐高発議第 6 号：「正門前が心配！」

～生徒、職員、中学生、近隣住民のための正門前環境向上の提案～に関する意見書

- ・登校時の安全性向上により生徒の安心感が増し学校の魅力にもつながると評価された。
- ・自校の課題を丁寧に分析し提案している点が評価され、賛成意見が示された。

### ■佐高発議第 7 号：佐倉の美味しいと楽しいを集めよう！食と歴史のフェス開催提案に関する意見書

- ・歴史と名産品を組み合わせた新しい視点であり、地域の PR や経済活性化につながると高く評価された。
- ・市の魅力発信に大きく貢献する提案であるとして賛成意見が複数出された。

## 3. 採決

### ■佐高発議案第 1 号～ 7 号について

投票総数 23 人中、賛成 23 人、反対 0 人。いずれの発議案も可決されました。

## 4. 市長講評

提案のあった 7 件については、市の安全対策、環境整備、地域連携の強化、コミュニティの活性化などに関わる大切な視点であり、非常に参考になった。今後は、県など関係機関とも連携のうえ、実現可能性のあるものから順次検討を進めてまいりたい。皆さんの思いは確かに私の胸に伝わった。これから佐倉市が 100 周年を迎える頃には、提案者の皆さんは地域の中心人物となっていると思う。将来への期待を込めて私の講評とする。



## 5. 議長から市長への報告

本日、7 件の提案について採決の結果、いずれも可決された。については、これらの提案の実現に向けての検討をお願いします。また、事業実施に至った際には、当該事業が高校生からの提案によるものであることについて、ぜひ周知をしていただきたい。



## 佐高発議第 1 号

### バトンでつなぐ佐倉の安全 小学校学区の安全確保に関する意見書

近年、通学路における倒壊の危険がある構造物や交通事故など、児童の安全を脅かす事例が報告されている。こうした状況を受け、私たち佐倉高校 1 年 B 組 9 班では、佐倉高校に身近な佐倉小学校の学区を対象に、次の観点から安全度の調査と危険箇所のマッピングを行った。

- ・ブロック塀の老朽化・傾き・ひび割れ・高さ（背を越える）
- ・見通しの悪さ（死角、街灯の不足）
- ・交通量・車の速度・歩道の幅など

調査の結果、以下の 3 点の課題が明らかになった。

- ・危険な箇所が放置されていること
- ・街灯の数が少なく、日が沈んだ後の安全性が低いこと
- ・地域の課題を住民同士で共有する仕組みが不足していること

私たちは、地域の未来を担う子どもたちの安全を守ることが、持続可能なまちづくりの第一歩であると考え、以下の事項を提案する。

#### 記

##### 1 危険箇所の優先的改善

調査により判明した危険箇所（老朽化した塀、死角の多い交差点など、穴の空いた側溝）について、早急な対策を講じること。

##### 2 道路の異常通報サービスの普及啓発

令和 5 年 8 月より導入されている、国土交通省の L I N E 通報アプリを活用した道路の破損・汚れ・落下物等の異状通報サービスについて、地域住民への周知と利用促進と危険な箇所の共有を図ること。そのために、報告された危険な箇所を L I N E などを用いて市民に伝えることのできるような仕組みをつくること

##### 3 マイシティレポ（My City Report）の導入

千葉市、印西市、白井市、鎌ヶ谷市など、全国 30 以上の自治体

で導入されている市民協働投稿サービス「マイシティレポ」を佐倉市でも導入し、地域の課題や不具合を市民がスマートフォンで報告・共有できる仕組みを整備すること。

令和7年12月16日

提出者 千葉県立佐倉高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

## 佐高発議第2号

### ひよどり坂をバズらせよう！に関する意見書

佐倉市の歴史ある「ひよどり坂」は、市民に親しまれている一方で、暗く危険な箇所が多く、市外への認知度が低いという課題がある。

こうした状況を改善し、地域の魅力を広く発信するため、ひよどり坂に提灯を飾り、地域の小中学校に協力して色付けや文字を書いてもらうなど、こどもたちが関わる楽しい空間を演出する。飾り付けは地域の大人が担当し、安全性を確保する。

また、イベントの告知や魅力発信にはInstagramを活用し、若者をターゲットに写真や動画を投稿し、コメントやDMを通じて双方向のコミュニケーションを図る。

さらに、ポスターやチラシなどのアナログ広報も組み合わせ、視覚的インパクトを重視したデザインで地域に根差した情報発信を行う。

これらの取り組みにより、若者や市外からの来訪者を増やし、佐倉市の魅力を広く発信できるだけでなく、地域のこどもたちが関わることで郷土愛を育み、安全性の向上と観光資源の活用による地域活性化が期待される。

令和7年12月16日

提出者 千葉県立佐倉東高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

佐高発議第3号

桜 e S p o r t G a m i n g

～高齢者へ健康促進・地域交流の場を～に関する意見書

佐倉市では少子高齢化が進み、高齢者の健康維持や地域経済の活性化が大きな課題となっている。さらに、新型コロナウイルス流行後、地域交流の場が減少し、孤独を抱える高齢者が増加している現状がある。こうした状況を改善するため、最新のゲーム機器を活用した「桜 e S p o r t G a m i n g」を導入し、楽しみながら健康促進を図るとともに、世代を超えた交流の場を創出することを提案する。

この取組では、まず高齢者を対象に最新のゲーム機器と快適な環境を提供し、eスポーツを通じて認知機能や運動機能の維持を支援する。加えて、地域の中高生をボランティアとして募集し、機器操作や交流をサポートすることで、若者には最新機種を体験する機会を、高齢者にはこどもたちとの交流による孤独感の軽減をもたらす。

さらに、佐倉産の食材等を生かした昼食を提供し、地産池消を推進することで地域経済にも貢献できる。

これらの取り組みにより、地域交流の活性化、高齢者の第二・第三の居場所の創出、数十万円から百万円規模の経済効果、そして高齢者の孤独や健康課題の解決が期待される。佐倉市の未来を見据え、地域の絆を深めるこの事業の実現を強く求める。

令和7年12月16日

提出者 千葉県立佐倉東高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

佐高発議第4号

全ての人々が快適に移動できる、思いやりに満ちたユニバーサルなまちづくりを推進するための意見書

臼井駅周辺では、歩道の幅が狭く、視覚障害者誘導用ブロックの不足、急なスロープや段差、側溝ふたの不備など、移動に支障を来すバリアが複数存在している。これにより、車いす・シルバーカー・ベビーカー利用者や視覚障害者の安全かつ円滑な移動が妨げられている。こうした現状を改善し、誰もが安心して移動できるまちづくりを進めることは、地域社会の平等性と安心感を高めるために不可欠であるため、以下を提案する。

記

- 1 歩道の幅を十分に確保し、車いす等の利用者同士が安全にすれ違える環境を整備する。
- 2 視覚障害者誘導用ブロックを増設し、臼井駅ロータリーから駅階段・エスカレーターまで安全な誘導路を確保する。
- 3 歩道・車道間の段差を解消し、スロープの勾配を緩やかにすることで、車いすやベビーカー利用者の通行を容易にする。
- 4 側溝ふたを交換し、キャスターや白杖が隙間に入り込まない構造にする。

令和7年12月16日

提出者 千葉県立佐倉西高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

## 佐高発議第5号

### 高校生が安心して集える屋内コミュニティスペース設置に関する意見書

現在、学校以外で高校生が心を許して集まれる場所は少なく、公共の場所では配慮が必要である。また、電車の待ち時間を過ごせる場所がなく、飲食店はあるものの、利用には費用がかかり、経済的負担となる場合がある。さらに、雨天時を考えると屋内スペースの確保が必要とされている。

こうした課題を解決するため、駅前の空きテナントを活用し「高校生のためのフリースペース」を設置することを提案する。デザインは市内高校生の美術部などが協力し、自分たちの居場所を自分たちで作る活動とする。利用は佐倉市内の高校生に限定し、初回利用時に学生証を提示して利用券を発行することでトラブル防止を図る。さらに、中学生との交流イベントなども定期的を開催し、地域のコミュニケーションを促進する。

この取り組みにより、駅前での長時間滞在が減り、一般の方とのトラブルが減少し、学生の安全・安心が守られ、友達との交流の場が確保される。佐倉南高の生徒へのアンケートでは、半数以上が「そのようなスペースがあると助かる」と回答しており、高校生の悩み解決に寄与すると考える。

令和7年12月16日

提出者 千葉県立佐倉南高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

## 佐高発議第6号

### 「正門前が心配！」～生徒、職員、中学生、近隣住民のための正門前環境向上の提案～に関する意見書

本校正門は緩やかなカーブの坂の途中にあり、正門から十～二十メートルの距離に坂の上下それぞれに佐倉南高校停留所がある。停留所は生徒、職員、近隣住民が利用している。さらに、この道は自転車通学の根郷中学校の生徒も利用している。

近年、この道は抜け道として利用する車が増え、特に下り坂ではスピードが速く、カーブの中央寄りを走行する車が多い。歩道は片側のみで、正門の反対側は木が生い茂り、見通しが悪くなっている。

こうした環境により、停留所で乗降する際や正門に入る際に、車の死角から飛び出す危険があり、事故のリスクが高まっている。このような状況では、停留所で乗降する際に停車中のバスの前後を通過することで、坂の上下から来る車の死角に入り、飛び出し事故の危険がある。

また、正門に入る際や自転車通行時にも危険が伴う。そこで、下記の対策を提案する。

これらの取組により、生徒、職員、中学生、近隣住民、そして運転者や同乗者の危険を回避できる。また、通行に対する不安が減り、地域全体が穏やかな気持ちで過ごせる環境が整う。

#### 記

- 徐行を促す標識や地面への標記の設置
- 横断歩道の標記
- 減速ロードハンプの設置
- 歩道の確保
- 停留所の整備
- 木の伐採による視界確保
- 車道の拡充

令和7年12月16日

提出者 千葉県立佐倉南高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

## 佐高発議第7号

### 佐倉の美味しいと楽しいを集めよう！食と歴史のフェス開催提案に関する意見書

佐倉市には、歴史民俗博物館や城址公園、風車、ひよどり坂、麻賀多神社など、魅力的な歴史的・文化的資源や自然環境が豊富にある。

また、味噌や蔵六餅、お茶などの特産品、秋祭りや花火大会、チューリップ祭りといったイベントも存在する。

しかし、これらの認知度は今後さらに高める余地があり、活用の可能性が残されている。

この課題を解決するため、私たちは佐倉市の特産品を活用した「食フェス」の開催を提案する。

下記の内容を盛り込み、佐倉市の魅力を広く発信し、多くの来訪者を呼び込むことで、地域の活性化、店舗や施設の充実、住みやすいまちづくりの促進が期待される。

#### 記

- 1 ヤマニ味噌、ハーブソース、レンコンなど佐倉市の特産品を使ったB級グルメを集める。
- 2 来場者による投票でグランプリを決定する。
- 3 飲食店だけでなく、市内5校の高校生もアイデアを出して出店できる仕組みを検討する。
- 4 開催場所は城址公園とし、歴史民俗博物館・武家屋敷・ひよどり坂などのスポットを巡ると特典がもらえる仕組みを導入する。
- 5 宣伝には、風車・城址公園の自然・ヤマニ味噌の蔵など「映える写真」を活用する。
- 6 SNSでハッシュタグを付けて発信し、拡散を促進する。
- 7 成田空港に近い立地を生かし、外国人観光客向けに英語での情報発信やハッシュタグを追加する。

令和7年12月16日

提出者 印旛特別支援校さくら分校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

## 令和7年度 佐倉市議会意見交換会 【高校生】実施後アンケート まとめ

### 【参加者】

- 高校生 23名      ▶佐倉高校 6名    ▶佐倉東高校 5名    ▶佐倉西高校 2名
- ▶佐倉南高校 5名   ▶さくら分校 5名
- 議員 27名

	合計	内 訳			
		佐倉高 6名	東高・西高 7名	南高 5名	分校 5名
<b>■意見交換会に参加した印象は…</b>					
とても良かった	20	6	7	4	3
良かった	3	0	0	1	2
普通	0	0	0	0	0
悪かった	0	0	0	0	0
とても悪かった	0	0	0	0	0
<b>■自分たちの提案に満足していますか？</b>					
とても満足	20	5	6	4	5
まあ満足	3	1	1	1	0
あまり満足していない	0	0	0	0	0
満足していない	0	0	0	0	0
<b>■提案を発表して、どんな気持ちになりましたか？</b>					
達成感があった	6	3	0	1	2
緊張した	10	2	4	1	3
楽しかった	7	1	3	3	0
<b>■ここに参加して、市議会に関心はもてましたか？</b>					
参加前から関心がある	3	1	1	1	0
持てた	17	4	6	3	4
少し持てた	3	1	0	1	1
持てない	0	0	0	0	0

■学校の同級生などに参加を勧めたいと思いますか。

強く勧めたい	9	2	2	3	2
勧めたい	13	4	5	1	3
あまり勧めない	1	0	0	1	0
勧めない	0	0	0	0	0

■自由記述

●佐倉高校

今日の意見交換会で新しい考え方を持つことができました。それは、ある人が危険だと思っていたとしても、他の人は逆に全く危険ではないと感じるということです。このように、公の場では、片方の視点のみではなく、双方の思いや考えを考えることが大事なんだと分かりました。なので、これをこれからの探究活動でもいかしていきたいと思います。

実際に議席に座ったり、議員の方々と話し、意見交換したりするなど素晴らしい経験がたくさんできてとてもよかったです。そして新しい意見や発想が得られてとてもよい刺激になりました。

議員の方とお話をするというめったにない機会を経験することができ、とても良い体験になりました。色々な側面から物事を考え発言することがとても難しかったです。

またやるとしたら討論以外の役割もやってみたいです。

普段地域に密着して働いていらっしゃる議員の方と考えを交わせたりで、とても良い経験になった。今後につながる刺激が沢山あり、充実した。

私は中学生のときにも中学生議会に参加したことがあったのですが、その時よりも本格的で実りのある議会になりました。

●佐倉東・佐倉西高校

このような経験は初めてだったのでとても緊張しましたが、とても貴重な体験をすることができたので楽しかったです。

会場に入ったときからすごく緊張してました。手のふるえもすごくどうなるのかと思いましたが、議員さん達が優しく対応してくださったおかげでスムーズに進みました。とても良い機会になったので、これからも市議会に関心を持ちたいと思います。

最初からすごく緊張しました。このような機会はないと思うので自分がいつも暮らしている市の政策もこのように考えられていることを感じて生活していきたいと思いました。

学校生活の中でこのような機会はないので、本当に嬉しいです。貴重な機会を有難うございます。また参加します！！政治に関して議員さんとお話が出来たり、他校の方はどんなことを考えているのか分かりました。この経験を今後の人生に生かしていきます！eSports事業やる時はよろしく願います！

意外に1つ1つの工程を丁寧に行っていておどろきました。議員さん1人1人の意見を聞いてみたい気持ちもありました。

自分たちの意見をこのようなきちような場でいあんすることが出来たり、きになることを質問できてとても良い経験でした。

どの学校の発表も良いものばかりだったので今回のような議会を重ねて佐倉がもっと良くなればいいなと思いました。次にまた機会があればもっとわかりやすく伝えられるように上手にまとめたいなと思いました。

## ■自由記述

### ●佐倉南高校

今回の意見交換の形式は前回の時より意見を考えて提案することができていいと思いました。できれば、質問内容などを事前に教えてくださると、さらに実のある話ができるのではないかなと思いました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございます。

みんながよく考えたことがとおってうれしかったです。みんなで考えてたのしかった。自分が参加してみていると分かった。おもしろかったです。

緊張したんですが発表してとてつもない達成感があって感動しました。

とても貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。自分たちの考えを話すことができてよかったです。討論について説明がなかったので、少しあせりました。

本日はこのような会にお呼びいただき、ありがとうございました。初めての体験に心が踊りました。前に立つ、意見を言う時の姿勢に意識を持ち、今後活かしていきます。

### ●さくら分校

人の前で発表をするのがとても緊張しました。今日やって少しだけ発表ができるようになりました。

もっといけんを言えたなと思いました。他のこうこのせいといけんもとてもさんこうになりました。これがじっさいやる時は全力で頑張りたいです。

とてもはくりよくがあって楽しかったです。

きんちょうして色々まちがえたりした気はしますが、しっかり前に立って言えたのでよかったです。

実際どのような流れで議会を進めていくのか体験できてよかったです。